

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2022-120928
(P2022-120928A)

(43)公開日 令和4年8月19日(2022. 8. 19)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 N 13/302 (2018. 01)	H 0 4 N 13/302	2 H 0 4 2
G 0 6 T 15/00 (2011. 01)	G 0 6 T 15/00 5 0 1	2 H 1 9 9
G 0 2 B 30/60 (2020. 01)	G 0 2 B 30/60	5 B 0 8 0
G 0 2 B 5/00 (2006. 01)	G 0 2 B 5/00 Z	5 C 0 6 1
G 0 9 G 5/36 (2006. 01)	G 0 9 G 5/36 5 2 0 Z	5 C 1 8 2

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 18 頁)

(21)出願番号 特願2021-17987(P2021-17987)
(22)出願日 令和3年2月8日(2021. 2. 8)

(71)出願人 504133110
国立大学法人電気通信大学
東京都調布市調布ヶ丘一丁目5番地1
(74)代理人 110000925
特許業務法人信友国際特許事務所
(72)発明者 木内 舜司
東京都調布市調布ヶ丘一丁目5番地1 国立大学法人電気通信大学内
(72)発明者 小泉 直也
東京都調布市調布ヶ丘一丁目5番地1 国立大学法人電気通信大学内
Fターム(参考) 2H042 AA02 AA20 AA21
2H199 BA32 BA49 BA67 BA68 BB17
BB20 BB66

最終頁に続く

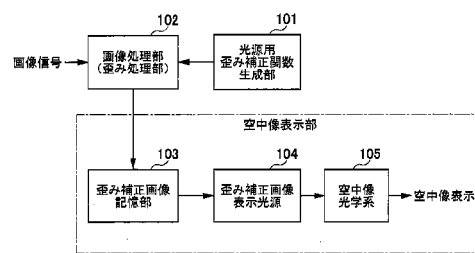
(54)【発明の名称】 空中像生成装置、歪み補正関数生成方法及び空中像生成方法

(57)【要約】

【課題】透明物体または反射物体による映像歪みが補償された空中像を所定の空間に生成する。

【解決手段】CGカメラの画角内の各画素を選択し、CGカメラから選択画素の位置に対応する理想カメラ映像の画素値を有する光線を選択画素の方向に発射した後に、透明物体及び/または反射物体、及び再帰透過光学素子を經由した光線が有する画素値を記録することで生成した算出用画像から歪み補正関数を生成する。そして、生成した歪み補正関数を用いて入力される画像信号に光学系に応じた歪みを与え、歪み補正画像表示光源を生成し、この歪み補正画像表示光源を用いて、所定の空間位置に実像としての空中像を生成する。

【選択図】図1



100 空中像生成装置